

# 日本初のフィットネスコンテスト、『シャイニークイーンコンテスト』開催!

今秋開催される『シャイニークイーンコンテスト』は、鍛えられた健康的な美しさを競うコンテスト。コンセプトを、2人のキーパーソンに聞きました!

取材・文/石飛加純 撮影/加藤 淳 衣装協力/ウェザーコーポレーション (桑江さん)

フィットネスを実践する女性へ。美と健康を競ってみませんか?

●くわえ・よしえ 01年『フィットネスジャパンベジフェント』優勝、02年、『フィットネスユニバーズ』日本代表。現在はインストラクター、(Be Active Japan) 代表としてフィットネスを啓蒙。  
●すおう・すすむ NESTA公認ジムパーソナルトレーナー。加任トレーニングの指導も行う。映画『ラストサムライ』にバトルコアアクターとして参加。ダンスの振り付けも手がける。(WELLNES SOUND) 代表。

フィットネスの女王を決定する日本初のコンテストが、この秋、満を持して開催されるという。その名は『シャイニークイーンコンテスト』。日頃のトレーニングで鍛えたカラダと、自らの美しさを演出し、健康的な肌、あらゆる角度から女性らしい美しさを競う一大イベントだ。

企画・演出を手がけるのは、カリスマインストラクターの桑江良枝さんと周防進さん。キーパーソンのお二人に、日本の女性に向けてコンテストの開催意図を伺った。

周防 ダンスならダンスコンテスト、格闘技ならK-1と、それぞれの分野にはアウトプットの場がありますよね。でも、トレーニングで美しさや健康を向上させようと頑張っている人たちに、それがないので飽きてしまう。このコンテストの開催を企画したきっかけがそれ。たとえばアメリカではフィットネスコンテストの世界大会が開催されていて、それがモチベーションになっている。桑江さんは、過去に日本代表として参加されているんですね。

桑江 2002年に参加させていたかったです。日本人と欧米人が考える健康美にはギャップがあるんですね。欧米では、筋肉イコール健康的かつセクシー。彼らはすぐに太ってしまうから、お腹が凹んでいるだけで肩に筋肉がちょっとついていというだけで、いいカラダ、と解釈するんです。日本では服のサイズが9号の女性が当たり前で、細身がよしとされています。そういう文化的な違いがあるんじゃないでしょうか。

周防 でも、日本の女性は20代の頃は細くても、50代になると体型が変わっていく。僕はずっとそれを疑問に思っていたんです。僕のクライアントは皆さん50代でも20代と差のないスタイル。いくつになっても変わらず、美しい体型をキープしていくことは大事なことだと思うんですよ。

桑江 そうですね。日本では化粧品の広告で言われているような美しさが先行しているような気がしますが、もっと内面からアプローチした方が美しさを維持できるんじゃないかと、私たちはいつも言っているんですね。

エントリー受け付け  
9/25~10/19

予選会

10/25

本戦

11/7

コンテスト審査方法

フィジカル

自分を魅力的に見せるアクティブな  
フィットネスウェアでのウォーキング

女性らしい立ち居振る舞い

所定の位置でのクォーターターン&プレゼンテーション

マインド

審査員からのインタビュー

アクティブ

健康的な日焼け度と  
スキンコンディション

周防 エステなどでも、外側の皮膚をきれいにするには限界がある。でも姿勢や骨盤の歪みを改善するなど、内側からのアプローチが本当は大切。というか、その方が美しさの維持につながるんじゃないかと。

桑江 肌もそう。今は美白が主流ですが、光るような小麦色のセレブリティアンの方がカッコよくてセクシーという提案もしたい。

周防 ハリウッドタンともいいますよね。灼くのではなく、日照で肌の殺菌作用を促したり、骨を強化したり、生きる活力を生み出すのが目的。桑江 審査は自分に似合うウェアをチョイスしてのウォーキングと、ポージング。自分が美しく見える演出を研究してもらいたいですね。普段運動されている人も、目標がないと



2002年『フィットネスユニバーズ』に参加した時の桑江さん。



フィットネス先進国、アメリカで毎年行われるコンテスト、『フィットネスユニバーズ2009』より。

それに向かって頑張れない。3kg痩せたら好きな男性に告白するとか、好きなブランドの服を着るとか。そういう目標達成の糧としてコンテストを利用してもらえればいいですね。

周防 毎日体組成計と眺めっことして、ストイックにトレーニングして、私、何やってるんだろ? という人たちに、ぜひ参加してほしいです。桑江 そういう人たちのモチベーションを演出すれば最高。会場は渋谷の(Shibuya)で、お洒落に舞台を演出します。来年はあそこに自分も立つてみたい! と思ってもらえるコンテストにしたいです。

どうやって応募すればいい?

誰でも参加できるオープン・チャレンジ部門と、エキシビジョンとしてのインストラクター部門(フィットネスに関わる仕事に就いている人が対象)の2部門がある。年齢層は20~50代。エントリーはシャイニークイーンコンテスト応募事務局のHPにて。http://shinyqueenjapan.com (8月末オープン予定)

背景には女性を応援する企業活動が。

日焼けサロン(ソレ)が、「SAVE THE GIRL」プロモーションの一環として『シャイニークイーンコンテスト』を応援。



コンテストではどんなことをするの?

コンテストでは、舞台の上手から現れて、美しくウォーキング。所定の位置でポージングを決め、最後まで審査員にアピールしながら下手に去る。ウェアは自分が最も魅力的に見えるものを自由にチョイス。アメリカでは水着がポピュラーだが、そこは日本人仕様で、ヒールの高い靴を履くことがポイント。